

研究業績一覧（2020年）

飯塚 信夫（イイツカ ノブオ）

1 論文

「「第2の矢」は放たれていたのか？—財政データに見る「アベノミクス」」、東京財団政策研究所 政策データウォッチ（33）、2020年9月16日

「1～3月期の実質GDP成長率～コロナ禍の影響をどれだけ織り込めているのか？」、東京財団政策研究所 政策データウォッチ（28）、2020年6月2日

「楽観バイアス強まる政府経済見通し」、東京財団政策研究所 政策データウォッチ（23）、2020年1月28日

2 その他

国際経済交流財団『Japan Spotlight』における以下の連載

「Economic Indicators for Japan」

- Has the Japanese Economy Bottomed Out?（2020年11/12月号）
- Impact of the Coronavirus Pandemic on the Japanese Economy as Seen in the Overnight Travel Statistic Survey（2020年9/10月号）
- Base Year Revision to the Indices of Tertiary Industry Activity（2020年7/8月号）
- Current Status of Cashless Payments & Transactions in Japan（2020年5/6月号）
- Government Economic Outlook—Stronger Optimism Bias（2020年3/4月号）
- Rush in Private Consumption & Negative Repercussions: Was It Different This Time?（2020年1/2月号）

出雲 雅志（イズモ マサシ）

1 著書：編著

Gilbert Faccarello, Masashi Izumo and Hiromi Morishita (eds.) *Malthus Across Nations: The Reception of Thomas Robert Malthus in Europe, America and Japan*, Edward Elgar, 2020

2 著書：共著

Maria Cristina Marcuzzo, Ghislain Deleplace and Paolo Paesani (eds.) *New Perspectives on Political Economy and Its History*, Palgrave Macmillan, 2020

浦上 拓也（ウラガミ タクヤ）

1 論文

「ブランド・ポートフォリオとPB製造受託—キューピー社のドレッシングの場合—」『経済貿易研究』2020年3月、46号、pp.159-167

2 講演

「NB and/or PB デュアル・ブランド戦略」主催：コーネル大学リテール・マネジメント・プログラム・オブ・ジャパン（協力：一般社団法人全国スーパーマーケット協会、場所同会議室）、2020年9月9日

枝村 一磨（エダムラ カズマ）

1 研究論文

枝村一磨（2020年10月）「産学連携と研究生産性に関する実証分析」研究技術計画 Vol. 35、No. 3

長岡貞男・枝村一磨・大西宏一郎・塚田尚稔・内藤祐介・門脇諒（2020年3月）「日本産業の基礎研究と産学連携のイノベーション効果とスピルオーバー効果」RIETI Discussion Paper Series 20-J-001

古澤陽子・枝村一磨・吉岡（小林）徹・高橋真木子・隅藏康一（2020年3月）「大学における研究推進支援人材が外部研究資金獲得に与える影響」NISTEP Discussion Paper No.179

2 研究発表

「企業において子育てサポート制度が研究開発活動に与える影響」日本知財学会第18回年次学術研究発表会、電気通信大学、2020年11月28日～29日

「企業の研究開発活動と競争力」研究・イノベーション学会第35回年次学術大会、東京工業大学、2020年10月31日～11月1日

“Endogenous decisions on acceptable worker-job mismatch level and the impact of workers' performance” 日本経済学会2020年度秋季大会、立正大学、2020年10月10日～11日

大島 朋剛（オオシマ トモタカ）

1 出版物

- 『郷土史大系 生産・流通（下）—鉱山業・製造業・商業・金融—』朝倉書店、2020年12月1日。「酒（日本酒・焼酎・ビール）」（執筆）
『新版 英語対訳で読む「経済」入門』実業之日本社、2020年10月7日（監修）

2 研究助成

- 「近代日本における酒類消費に関する研究」、科学研究費補助金、基盤研究(C)（2017年度～20年度）、課題番号：17K03852
「近代伏見酒造業の発展と都市化に関する総合的研究」、科学研究費補助金、基盤研究(C)（2017年度～20年度）、課題番号：17K03836

奥山 聡子（オクヤマ サトコ）

1 論文

- 「新興国が抱える国際資本移動のリスク—グローバル要因によるサドン・ストップの発生—」
『国際経済』第71巻, pp.59-91, 2020年11月

小山 和伸（オヤマ カズノブ）

1 著作

- “Japanese leadership in the case of the Fukushima nuclear accident” Fondation France-Japon de L'EHESS Dec. 2020
“The Future of nuclear technology” *Keizai Boeki Kenkyu*. No. 46, Mar. 2020

2 学会報告

- “Idealism is Inclined to Reduce Compliance with Law” Legal Science: Functions, Significance and Future in Legal Systems II, June 2020, University of Latvia

工藤 喜美枝（クドウ キミエ）

1 著書

- 『Access 入門！作って覚える』三恵社、2020年4月（単著）

2 研究発表

「初学者向けプログラミングにおける反転授業」第26回大学教育研究フォーラム、2020年3月18日（オンライン）

五嶋 陽子（ゴトウ ヨウコ）

1 論文

「イノベーションと財政」『経済貿易研究』第46号、2020年3月、39-65頁

2 著書

篠原正博（編著）『テキストブック 租税論』創成社、2020年11月（分担執筆：第3章 課税の公平性）、44-68頁

呉 春美（ゴ ハルミ）

1 特別講義

「共生都市 東京と QOL」会場：都立大学（Zoom）、2020年12月11日

坂田 大輔（サカタ ダイスケ）

1 研究会報告

「統計報告調整法の成立過程」経済統計学会東北・関東支部1月例会（立教大学）、2020年1月11日

寺嶋 正尚（テラシマ マサナオ）

1 論文

寺嶋正尚・都留信行・武内千草（共著）「テキストマイニングを用いた自由が丘への来街頻度の変化に関する分析」産業能率大学紀要40(2)、55-69頁、産業能率大学、2020年2月

2 学会報告・研究会報告

寺嶋正尚・桐生進（共同発表）「鉢物物流におけるハーフ台車活用に関する研究」第37回・日本物流学会・全国大会（専修大学）、日本物流学会、2020年9月20日

道満 晴彦（ドウマン ハルヒコ）

1 学会報告

「気候危機時代における環境政策と企業—コロナ後のグリーン・リカバリーの議論に向けて—」
日本比較経営学会第45回全国大会、統一論題報告、2020年11月15日、東洋大学（※ web 会議システム）

2 その他

「EU の再生可能エネルギー市場統合戦略—「優遇」から「市場統合」へ」、MUFG BizBuddy、2020年2月、記事（※ 前任校時代）

戸田 龍介（トダ リュウスケ）

1 著書

『会計のヒストリー80（野口昌良・清水泰洋・中村恒彦・本間正人・北浦貴士編）』中央経済社、2020年4月（共著、コラム7「農業簿記」96頁を担当）

2 論文

「IAS 第41号『農業』適用企業による公正価値測定の実態について—Astarta、Holmen および Marine Harvest グループの2012年度アニュアルレポートを対象として—」『会計』、第197巻第5号、2020年5月、28-41頁（単著）

「国際会計基準（IAS）第41号『農業』適用企業による公正価値測定に関する調査(1)—ASTARTA（ウクライナ農企業）2012年度アニュアルレポートを対象として—」『商経論叢』、第55巻第3・4合併号、2020年3月、133-53頁（単著）

3 学会報告、学会開催準備委員長

座長解題および座長司会（日本会計研究学会第79回全国大会、北海道大学・北星学園大学主催のZOOM開催、統一論題報告Ⅱ第2会場、9月5日）「北海道から考える会計（会場テーマ）」、統一論題全体テーマ「会計思考の継承と発展」

大会準備委員長（日本会計史学会第39回大会、神奈川大学主催ZOOM開催、10月24日）、学会テーマ「対話する会計史研究」

4 BS 放送大学講義、書評、学会司会、研究会報告、外部資金獲得状況等

BS 放送大学講義「農業簿記について」（放送日時：2020年6月19日9:45～10:30、BS キャンパス ex 231ch「現代の会計」第12回後半20分間）

書評：原俊雄編著『簿記と帳簿組織の機能—歴史的・国際的視点から』（中央経済社）に対して、『産業経理』、第79巻第4号、2020年1月、124-125頁

学会司会（日本会計史学会第39回大会、神奈川大学主催 ZOOM 開催、小川華代報告「James Montgomery の原価計算論」に対して、10月24日）

学会司会（日本会計史学会第39回大会、神奈川大学主催 ZOOM 開催、中野貴元報告「戦前期における皇室会計制度」に対して、10月24日）

研究会報告論題：「座長解題：北海道から考える会計」（九州会計研究会、ZOOM 開催、7月11日）

外部資金獲得：平成29～令和2年度・科学研究費補助金・基盤研究(C)、課題番号17K04077、課題名「国際会計基準第41号『農業』の適用実態調査に基づく公正価値会計の考察」

灘山 直人（ナダヤマ ナオト）

1 学会発表

N. Nadayama (2020) "MNEs' Identification of New Market Opportunities on Platforms", Academy of International Business (AIB), Annual Conference, Online

2 その他（Teaching Case）

N. Nadayama & A. Lindblom (2020) "Rakuten: To stay or not to stay in the UK?" Ivey Publishing. Product Number: 9B20M022

鳴瀬 成洋（ナルセ シゲヒロ）

1 その他

「国際経済論の大海を渡る人—木下悦二先生との出会いから今日まで—」『九州大学経済学部同窓会報』第68号，2020年5月15日，21～23ページ

原口 純一（ハラグチ ジュンイチ）

1 論文

Junichi Haraguchi and Toshihiro Matsumura (2020) "Implicit Protectionism via State Enterprises and Technology Transfer from Foreign Enterprises" Review of International Economics 28(3), pp.723-743

Junichi Haraguchi and Toshihiro Matsumura (2020) "Endogenous public and private leadership with diverging social and private marginal costs" Manchester School 88(5), pp.699-730

兵頭 昌（ヒョウドウ マサシ）

1 学術論文

- M. Hyodo, T. Nishiyama, T. Pavlenko “Testing for independence of high-dimensional variables: rhoV-coefficient based approach”, *Journal of Multivariate Analysis*, Vol. 178, 2020, doi: 10.1016/j.jmva.2020.104627 【査読あり】
- H. Watanabe, M. Hyodo, S. Nakagawa “Two-way MANOVA with unequal cell sizes and unequal cell covariance matrices in high-dimensional settings”, *Journal of Multivariate Analysis*, Vol. 179, 2020, doi: 10.1016/j.jmva.2020.104625 【査読あり】
- M. Hyodo, T. Nishiyama, T. Pavlenko “On error bounds for high-dimensional asymptotic distribution of L_2 -type test statistic for equality of means” *Statistics and Probability Letters*, Vol. 157, 2020, doi: 10.1016/j.spl.2019.108637 【査読あり】

2 学会発表

- 兵頭昌・渡邊弘己・中川重和「Normalized transformation of Dempster type statistic in high-dimensional settings」、日本計算機統計学会第34回大会、2020年5月30日～31日（オンライン）
- 兵頭昌「高次元における一般化分散の同等性検定について」、第2回統計科学セミナー 2020年11月16日（東京理科大学 野田キャンパス K405 教室及びオンライン）【招待講演】
- 米口貴誠・首藤信通・兵頭昌「楕円母集団から得られた2-step単調欠測データに基づく平均ベクトルの尤度比検定と検出力について」、日本計算機統計学会第34回シンポジウム、2020年11月28日～29日（オンライン）

3 著書

- 杉山高一・櫻井哲朗・土屋高宏・兵頭昌・中村好宏・川崎玉恵・伊谷陽祐・杉山高聖・藤越康祝・塚田真一・西山貴弘・首藤信通・村上秀俊・小椋透・竹田裕一・榎本理恵 共著『R・Pythonによる統計データ科学』、勉誠出版 2020年1月（ISBN: 9784585240112）

4 研究助成

- 「標本分布の歪みに対処した新たな高次元統計解析の開発」日本学術振興会：2020-2024年度科学研究費助成事業 基盤研究(C)（統計科学関連）（研究代表者）

5 その他

【役職】

日本数学会 『数学』 編集委員

日本計算機統計学会 企画理事

舟橋 秀治（フナハシ ヒデハル）

1 発表

“Deep Learning for Option Pricing with Asymptotic Correction” 第52回（2019年度冬季）ジャ
フィー大会（全国学会）、Tokyo、2020/2/28（単独）

2 論文

Hideharu Funahashi (2020), “An Approximate Swaption Formula in Heath-Jarrow-Morton Mod-
els,” Journal of Derivatives, 27(4), pp.30-50（単著）【査読あり】

松村 敏（マツムラ サトシ）

1 論文

「備後造船業の展開と中手造船」、張楓編著『備後福山の社会経済史』所収、日本経済評論社、
2020年2月、109-154頁

2 その他

「製糸業」、阿部猛・落合功・谷本雅之・浅井良夫編『郷土史大系 生産・流通（下）』所収、朝
倉書店、2020年11月、102-107頁

三島 斉紀（ミシマ ムネノリ）

1 論文

「マズロー「1953年論文」について—「自己実現」者に見られる対人関係の特徴に関する調査
報告書から—」（単著）『商経論叢』、神奈川大学経済学会、第55巻 第3・4合併号、2020
年3月、181-195頁

2 学会・研究会報告

「世に流布するマズロー自己実現論の「誤用」とその悪影響・責任について」第4回 東北経
済学研究会・経仙会（龍谷大学）、2020年2月

「アルダファーE.R.G. 理論の教科書的概説は正しいのか—マズロー著作との比較を中心に—」
マーケティングの未来を考える研究会（神奈川大学）、2020年12月

山本 崇雄（ヤマモト タカオ）

1 学会報告

「国際社会起業家論に基づく新興国市場参入戦略：教育関連ビジネスを事例として」、国際ビジネス研究学会第27回全国大会（愛知大学；オンライン開催）、2020年11月15日、共同報告：佐藤幸志

2 書評

「白木三秀・ブライアン・シャーマン著『英語 de 人事：日英対訳による実践的人事』文眞堂、2020年」『世界経済評論』2020年11・12月号、p.94

山本 博史（ヤマモト ヒロシ）

1 研究報告など

「公定史観から歴史を取り戻す言説空間の戦い・経済発展と格差問題から見た民主主義—タイを事例として」アジアコンセンサス研究会、於 ZOOM によるオンライン研究会、2020年12月26日

2 一般向けの研究報告

「タイ反政府運動における王制批判」『世界経済評論 IMPACT』No.1887、2020年9月21日

「タイ、革命前夜の新局面か：新未来党解党と学生の動き」『世界経済評論 IMPACT』No.1652、2020年3月9日

「『誰が見張り役を見張るのか』：香港とタイの事例からタイ総選挙を考える」『世界経済評論 IMPACT』No.1609、2020年1月27日

横川 和穂（ヨコガワ カズホ）

1 書評

「新井洋史編著『ロシア企業の組織と経営—マイクロデータに因る東西地域比較分析—』日本評論社、2018年」比較経済体制学会『比較経済研究』第57巻第1号、2020年1月、67-70ページ

2 学会・研究会報告

“Small Government of the State-led Economy?: The Role of Public Finance in Russia”, 青山学院大学グローバル国際関係研究所公開シンポジウム “100 years of World Wars and Post-War Regional Collaboration and Good Governance: How to Make a New World Order?”, Session II.

State-Permeated Capitalism under Globalization (ZOOM 開催)、2020年12月 8 日
“Small Government of the State-led Economy? : The Role of Public Finance in Russia”, Asia Economic Community Forum, at Sheraton Grand Incheon, Korea (ZOOM 参加)、2020年11月 5 日
「ロシアの東方シフトとアジア諸国との経済関係：ロシア極東地域を中心に」比較経済体制研究会第39回夏季研究大会 (ZOOM 開催)、2020年 8 月23日